

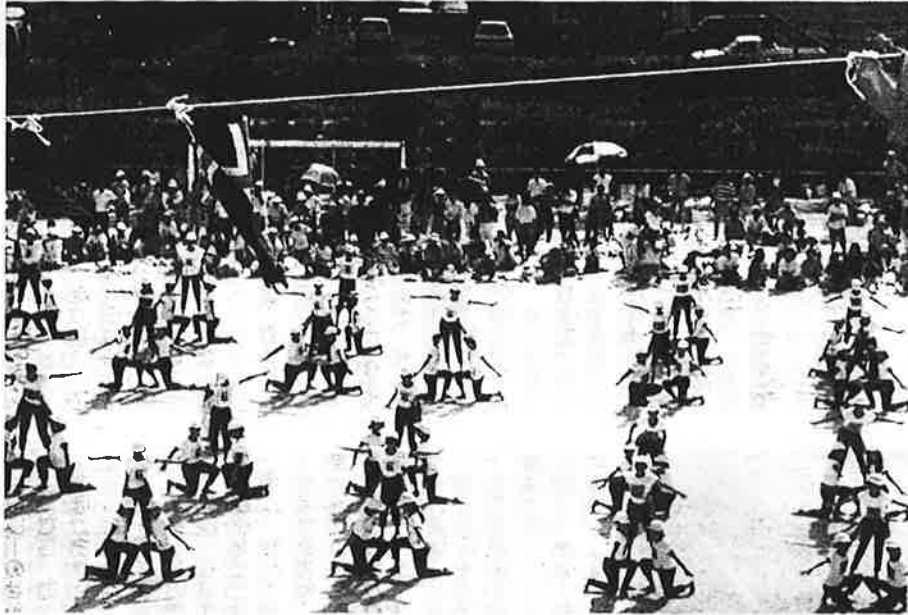
さすが、羽津北 日本晴れ!



編集発行
羽津北小学校
PTA広報部
印刷
阿竹印刷工業㈱

第 41 号
平成2年11月10日発行

この日(11.9)だけは、台風も秋雨前線も我が羽津北小バワイに押し切られたか、見事な運動会日和りに恵まれました。



(5・6年生 組立体操)

お父さん・お母さん100人に聞きました

アンケートの結果

- ☆朝、子供に何と声をかけましたか? 65人
- 頑張つてネ 9人
- いつてらっしゃい 4人
- 転ばない様にネ 3人
- 最後までガンバリなさい 2人
- いつししょうけんめいにネ 2人
- ビリでもいいヨ 2人
- 気を付けて 2人
- 晴れてよかつたネ 2人
- 運動会には行かない 2人
- その他 9人
- ☆お父さん、お母さん方の小学校の運動会で一番の想い出は? 30人
- 町別リレー 24人
- 徒競争 22人
- お弁当 11人
- いやだった 2人
- 借り物競争 2人
- 綱引き 2人
- その他 9人



- ☆これから、新たに加えてほしい競技種目は? 35人
- 地区別リレー 11人
- 親子競技 11人
- 借り物競争 11人
- パン・アメ喰い競争 11人
- 鼓笛隊 8人
- 綱引き 8人
- 先生対PTA徒競争 5人
- 障害物競争 3人
- 百足競争 2人
- その他 6人



せせせいのあね

「あねは、おとうさん、おとうさん、おとうさん...」

おしかつた運動会

三年 大すぎ きまゆい

「あねは、おとうさん、おとうさん、おとうさん...」

「おとうさん、おとうさん、おとうさん...」



成功してよかつた

組み立て体操

六年 森 みどり

「わたくしが一番うれしかったこと、それは、おとうさん、おとうさん、おとうさん...」

「おとうさん、おとうさん、おとうさん...」



「わたくしが一番うれしかったこと、それは、おとうさん、おとうさん、おとうさん...」

専門部活動

保体部

部長 不破 幸子

羽津北PTAの中で、初めての女性保体部長となりました。

教養部

部長 森 淑子

「わたしは、教養部です。」

学年部

部長 宇野 仁美



まず一年間の保体部の動きを決めなければならない、羽津北PTA活動方針の中にある「PTA会員の相互理解を深め、全会員が参加できるPTA活動を目指す」とあるように、体を動かしながら、先生、父兄とが、交流を深め、何でも、気軽に話ができるような、関係作りを目標にまいりました。

7月に行ったインディアカ大会を従来の地区対抗から、学年部さんにお願いで、学校対抗とさせていただきます。

おかげ様で、多数の先生方の参加に、会員の参加も、私たち部員の想像以上の盛況に大変喜んでおります。

PTAの運営の中で、一番重要なことは、楽しんで軽く参加できる事だと私は思います。

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

環境整備部

部長 市川 慎作

残暑厳しき中、八月二十八日のPTA奉仕作業は、先生方を始め、二百二十数名の御参加をいただきました。

十一月と三月にプールの周りに防風林の植樹を予定しています。

安全部

部長 坂中 則子

安全部の一年間の活動



安全部の一年間の活動

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

「わたしは、教養部です。」

“母と教師の語る会”より

危険がいっぱい！

教師 水谷さとみ

風呂上りの主人と子どもに市販のジュースでは今一と、手作りのハチミツレモンをサーブしていたのはほんの教年前までの事、忙しい合間にぬってレモンを輪切りにし、ハチミツに漬け込んでそれを氷水で薄めていました。

でも、レモンにはかのベトちゃんドクちゃんを生んだ枯れ葉剤が使用されているのを知り、自分の無知さに身震いする思いでした。

親に口答えし、自分の事だけを考えて生活していた私も、一児の母となつては知らなかつたはずませません。子どもたちは私の作った物を食べて血や肉とし、エネルギーとして生きています。私は生命をあげかっているのです。

九月に入ってから「母と教師の語る会」をはじめ、公害学習に出来る機会があり、ちよつと覗いて

みるとそのシヨッキンブな内容にただ、ただ驚くばかりです。

自国で消費する産物には薬品を使わず、日本向けの輸出品には薬品を使うという外国の話、また私達が食用とする家畜の七割はたとえ一部であれ何らかの炎症を持つている事、合成食品添加物はそれの化学物質がガン、変異源、催奇形などの毒性を持ち、私達はこれを多種複合して長期間摂取している等々、知れば知るほど恐ろしい事はかりです。

これではもう何も食べられない、と嘆きたくなります。

しかし、私達は選ぶ目を持っていくのです。山と積まれた食品の中からできる限り安全な物を選ぶにはありませんか。そして、食汚染のみならず、海洋汚染、水汚染、酸性雨、ゴミ汚染、遺伝子汚染等々、周りにある全ての汚染について常に関心を持ち続けていようではありませんか。

今日、明日、自分の身体がどうという事はないでしょう。でも、子どもや孫の未来に少しでも異常が現れるとすればそれは不幸の始まりを放つておいた現在の自分に責任があるのかも知れません。



母と教師の語る会に参加して

母 松永喜久子

「それでも あなたは 食べますか」。これは、去る九月七日に母と教師の語る会で見えたビデオの題名です。完全防備でオレンジやレモンに農薬をかける人、薬づけで倉庫に放置されている輸入食品、そして添加物がいっぱいの私たちの食生活……。今まで、これらのものを食べていたのかと思うと、ゾーとしました。しかし、添加物の恐さがわかつても毎日の生活の中で、無添加食品だけを食卓に並べることが難しく、私たちは添加物がある程度、妥協しなければ食事も出来ません。このような中で、母として出来ることはと考えてみました。それは、食品添加物、残留農薬、抗生物質など、有害な物質を調理方法などによって、少なくさせる努力をすることではないでしょうか。大切な家族のためにも、食生活のチェックを常に心がけようと思えます。



1年生と父兄（授業参観後）

ゲーム { 勝ち抜きジャンケン
ボール送り

多数参加者があり、こども達もお田さん方も楽しそうでした。

お知らせ

- ♡安田 晴美先生が10月1日から復帰されました。
- ♡藤井 恵子先生、3-3担任11月17日で産休に入られます。(元気な赤ちゃんを産んで下さい。)

お田さんの手作りおやつ

かぼちゃだんごのあずきあんかけ

材料(4人分)

かぼちゃ150g

白玉粉150g

ゆであずき(缶詰).....大さじ8~10杯

作り方

①かぼちゃは皮をおいて小さく切り、蒸し器で蒸して、裏ごししておく。

②白玉粉はボウルに入れ、水 $\frac{1}{4}$ ~1カップを少しずつ加えて、かために練る。かぼちゃを混ぜて、耳たぶくらいのかたさに練り32等分してだんごに丸める。

③たつぷりの湯を沸騰させた中に、だんごの中心を少しくぼませながら入れる。浮いてきたら約1分おいてすくい上げ、水に入れる。あら熱がとれたら氷水につけて冷やし水気をよくきって器に盛り、冷やしておいたゆであずきをかける。

※白玉だんごは冷蔵庫で冷やすと固くなるので、氷水で短時間に冷やす。

